

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	2025年	3月	10日
川崎西部地域療育センター保育所等訪問支援事業所	利用児童数	12	回収数	8

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8	0	0	具体的なアドバイスを頂き実践しやすい。食具の持ち方など園で行える支援、アイデアをわかりやく聞けた	施設で実践しやすい対応方法を提案できるように丁寧な話し合いを心がけていきます
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8	0	0	行事への参加方法も含めて、具体的なアプローチ方法の提案があり、勉強になった	様々な角度から評価を行い、適切な支援方法を選択できるように努めています
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	0	0	質問に対して、その場で適切な回答をいただいた。いつも丁寧に回答していた	訪問施設の状況に配慮しながら、ニーズを正しく把握、判断して回答できるように努めていきます
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	0	0	子どもの成長を感じるとともに職員が支援の観点を学びながら取り組み、課題の軽減に繋がった	訪問施設、子どもの課題を整理しながら具体的で実践的な対応方法の提案を心がけてまいります
5	事業所からの支援に満足していますか。	8	0	0	研修では聞けない小さな疑問に丁寧に回答していただき、実践に活かすことができるので、安心感もある	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
保育とは異なる視点での子どもの育ちやアプローチ方法を具定例や療育での媒体を見ながらケース会議が行えるので良い 登園しづりがあった子どもがシールカードの実践等により、目標が出来て登園回数が増えてきた 園の子どもの様子（楽しんで活動に参加できていることなど）を訪問支援員から保護者に伝えていただけるので、保護者の安心感にも繋がっていた。					訪問した際にあるいは訪問後に、施設の担当者の方と丁寧に振り返りを行い、様々な角度から子どもの実態と支援方法を検討できるように取り組んでいきます 訪問施設、子どもの困り感に合わせて支援目標を設定し、その支援方法が効果的か、適切に評価しながら支援をすすめています 子ども、保護者、訪問施設、訪問支援員それぞれがお互いに信頼感、安心感を持ちながら関われるような協力関係を大切にしています	